

めぐみ

春号
2020

発行元 社会福祉法人清光会 障がい福祉サービス事業 恵誠の里
〒598-0024 大阪府泉佐野市上之郷2007番地の1
発行者 施設長 樋口力
TEL 072(467)1181 FAX 072(467)2281
HP <http://s-seikoukai.or.jp/keiseinosato>
E-mail keiseinosato@nifty.com

～新年度を迎えて～

春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨今流行している新型コロナウイルスに対しても、清光会理念のもと安全・安心・信頼を基本に、組織としての総合力を高めながら換気や消毒、マスク着用などで感染予防に努めております。

食堂ではマスクを外してしまうので、新たにプラズマクラスター加湿空気清浄機を2台設置しました。コロナウイルス対策を中心に、例年以上の感染症対策を行った事で、インフルエンザ等で休む事もなく、多くのご利用者、ご家族、関係者の方々のお力添えにより、新しい春を迎える事が出来たと感謝しております。

数年前より、Bリーグ（プロバスケットボールリーグ）の観戦に行く機会がありました。初めて行った時は、プロのプレーに感動しましたが、それより大阪エヴェッサ公式ガールズパフォーマンスユニット「BT（ビィティー）」の取り組みに感動を覚えました。オープニングイベントやハーフタイムの時に、チアダンスや他のゲストのパフォーマンス、観客参加型のシュートゲームなど、試合が中断している時も観客を飽きさせない工夫が施されていました。何よりも感動した内容は、たった1分間しかないタイムアウトがとられた時でも、コート上に出てきてダンスを披露してくれます。試合中もポーズを決めて応援をしているので、試合が始まる前から終わった後まで分刻みの過密スケジュールをこなしているのも、試合をしている選手よりハードでないかと感じる程でした。

「試合が中断している時も観客を飽きさせない工夫」というのは、福祉業界にも通じる重要な取り組みに感じております。恵誠の里は、通所型事業所としては数少ない生活介護事業の定員50名で取り組んでいますので、賑やかで活気のある空間になっていると日々感じます。通所して頂いているご利用者が「暇だからテレビでも見るか」と思われてしまわないよう、職員やご利用者の分け隔てなく楽しいコミュニケーション作りの出来る事業所を、目指してまいりたいと思います。

支援課課長 谷口勉

* 新しい車が来ました *



恵誠の里の車に3台目のキャラバンが仲間入りしました。車内は広く、背もたれが高く快適です。スライドドアにはオートステップが装備されており、乗り降りもスムーズです。またカーナビ、Bluetoothオーディオも装備されており遠出も心強いです。新しい車を迎え、職員もこれまで以上に気持ちを引き締め安全運転を心掛けたいと思います。

◇活動風景◇ * 1月 調理実習

おでん風☆大根と厚揚げの煮もの



旬の大根と、厚揚げを使ってシンプルな煮物を作りました。料理が得意なご利用者からアドバイスをもらい、短時間で味がしっかりと染みた、美味しい煮物が出来ました！

支援員 山野



余暇 カラオケ大会・手芸



新型コロナウイルスへの感染防止に伴い、外出を自粛している為、恵誠の里の中で楽しめるカラオケや映画鑑賞、折り紙や手芸にも取り組んでいます。手芸では、小物入れやポーチ作りに挑戦！！室内でも楽しい余暇時間を過ごしていただいています。

とっても盛り上がり良い笑顔☆

チーム対抗☆玉入れ大会



新人職員紹介

初めまして。4月より勤務させていただいています、東畑加津子(ひがしばたかつこ)です。ご利用者の皆様とたくさんお話し、楽しく過ごしていただけるように努力していきます。まだ分からない事ばかりですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



東畑 加津子
ひがしばた かつこ



品野 圭司
しなの けいじ

この度恵誠の里で勤務させて頂くことになりました、品野圭司(しなのけいじ)です。ご利用者がより良い日中活動生活が送れる様、微力ではありますが、全力で頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。

3月 退職職員

◆業務課係長 堂田多美子

長い間お世話になり、ありがとうございました。お陰様で3月末日、任期満了の期限を迎え、退職の運びとなりました。思い起こせば29年もの歳月が流れ、ピチピチだった肌は年輪を刻み皺だらけに、歩いた足跡には立派な後輩が続々生まれ、今後は頼もしい限りです。和歌山より山越えで通った通勤も一度の事故もなく、何より大病もせずに勤務させて頂く事ができました。

仕出かした仕事の失敗も寛大に許して下さった上司の皆様、伴に笑い、怒り、また泣いた同僚の皆様、「正にお陰様」で無事この日を迎える事が出来、本当に深く感謝しております。

さて、これからは自由の身、今まで出来なかった事を「片端からやってやろう」と常々思っていたはずなのに、はて？何から始めたらよいものやら。

仕事に追われた29年の日々は、時間に追われる毎日の中に、一応に規則正しいリズムがあり、歌の文句じゃないけれど、「働くからこそ休まれる。」とはよく言ったもので、毎日が休日になると、糸の切れた風船状態になるのではと、少しだけ不安です。

年齢を重ねる(個人的に)と、物事を自分に都合よく解釈出来るようになり、我儘にもなります。今後の余生は我儘だらけの自分流で存分に愉みたいと思っております。



◆支援課 支援員 横田ひかる

短い間でしたが、お世話になりました。

利用相談・見学・体験利用について随時受け付けております。
サービス内容は事業所ホームページに記載しておりますので、どうぞご覧下さい。
(電話での相談もお受けします。TEL072-467-1181)
ご連絡お待ちしております。

受付 谷口

ご協力ありがとうございました。
大阪体育大学様

作業提供ありがとうございました。
松井縫製加工所様、(有)丸基製作所様、(有)ハナトミ様、
(株)メイクズ様(順不同)

《編集後記》

広報誌「めぐみ」も、発行をスタートして12年となりました。前記の様に、ご利用者の活動風景など、恵誠の里での活動や取り組みを、皆様に紹介できる紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご感想をお寄せ頂きますよう、よろしくお願いいたします。

編集員一同